

## 文化・芸術

「朝」

1939年、油彩、カンバス  
72.7cm×50.0cm  
(公益財団法人糖業協会蔵)

小磯良平

(1903～88年)

1920年代、西洋文化の影響を受けた最新のファッションをまとった若者文化としてのモダンボーイ、モダンガールが流行し、30年代には女性が職を得て社会進出が進みました。小磯良平は卓抜な描写力による気品に満ちた女性像で早くから高い評価を得ました。本作では、テーブルのカップに茶を注ぐ女性が描かれ、朝のささやかで優雅なひとときを映しています。

モノクロームの室内にドレスの鮮やかなピンク、ポットやリボンの赤色が配置され、中でも、白の壁を背景にしたピンク色は、女性のしとやかな所作と相まって優しい雰囲気画面に響かせています。

公益社団法人糖業協会は、36年の設立以降、美術品を収集し、大正期末から昭和中期までの近代洋画の優品を所蔵しています。本作もそのコレクションの一点です。現在、愛知県の碧南市藤井達吉現代美術館で9月8日まで開催中の「松本竣介『街』と昭和モダン―糖業協会と大川美術館のコレクションによる―」でご覧いただけます。(大谷)

《名画の扉》

「松本竣介『街』と昭和モダン」から

